

経営理念・ビジョンに基づくボーダレス経営 ～ 海外展開に取り組む際に考えて欲しいこと ～

株式会社フォーバル コンサルティング推進部 村上 知 氏

はじめに

現代のビジネス環境はさまざまな事業環境の変化により、経営の難易度が著しく高まっています。足元の経営環境では物価の高騰・労働力不足、賃金上昇など、企業として対応していかなければならない課題が山積みの中で、持続的な成長を遂げるためには、従来の経営手法や概念だけでなく、新たな概念を取り入れて事業経営を行う事が求められています。本記事では、その背景を踏まえて、企業が取り組むべき「経営理念・ビジョンに基づくボーダレス経営の重要性」と、その実践方法について探っていきます。

1. 経営理念・ビジョンの重要性

経営理念やビジョンは、企業の核となる価値観や目的を明確に示すものです。これらは企業が進むべき方向を定め、意思決定や行動の指針となります。

明確な経営理念・ビジョンを持たなければ、社員は「この船(自社)はどこに向かっているのか」「何を判断基準として日々の業務を遂行すべきか」が分からなくなります。多くの企業が経営理念やビジョンを明確化していない、もしくは形骸化して社員に浸透していないケースがあります。

2. ボーダレス経営とは？

ボーダレス経営とは、国境や業種、組織の枠組みを超えて事業を展開し、新たな価値を創造していく経営手法を指します。日本は島国であるがゆえ、ボーダレス経営が特に中小企業にとって特別な事のように捉えられがちですが、世界中の多くの企業は国境という枠組みの概念に囚われず、人・物・金・情報の経営資源を行き来させながら事業運営を行っています。

情報技術の進化によって、企業はこれまでの既成概念にとらわれない柔軟な経営体制を整える必要があります。経営の枠組みを無意識的に「日本国内」に限定したままで、持続的な成長や事業継続が本当に可能なのかを再考する必要があります。少子高齢化や市場環境、価値観が大きく変わりつつある今、経営者自身が自社の経営概念をボーダレスに書き換

えることが重要です。具体的な例として、海外展開や外国人人材の活用があります。

3. 海外展開や外国人人材採用

現在、多くの中小企業が海外展開に取り組み、グローバルマーケットへの挑戦を始めています。また、日本国内の人手不足から、多くの企業が外国人人材の採用にも乗り出しています。これらの取り組み自体はボーダレス経営として重要であり、有効な手段となり得ます。しかしながら、経営理念やビジョンに基づかずにこれらの施策を進めている企業が多く、結果として失敗に終わるケースが少なくありません。

具体的には、「国内市場の縮小によって海外に活路を求め、海外販路開拓のツールの活用や商談会に参加する」「日本人人材が採用できないため、外国人人材を採用する」といった、目先の課題解決の手段として取り組むケースが散見され、計画や前準備が不十分なまま進めることで、文化や商習慣の違いから思わぬ障壁に直面し、事業がうまくいかないことがあります。

経営理念・ビジョンに基づかない取り組みは、企業全体の方向性や目的と一致せず、一貫性のない経営となってしまいます。社員もなぜその取り組みを行うのか理解できず、モチベーションの低下や組織内の不和を引き起こす可能性があります。そのため、海外展開や外国人人材の採用を行う際には、経営理念・ビジョンを軸に据え、長期的な視点で戦略的に取り組むことが重要です。

4. 経営理念・ビジョンに基づくボーダレス経営の実践方法

経営理念・ビジョンに基づいてボーダレス経営を実践するためには、中小企業であっても例外なく以下のポイントを押さえることが重要です。

(1) 経営理念・ビジョンの再確認と浸透

まず、自社の経営理念・ビジョンを再確認し、それを改めて全社員と共有します。海外展開や外国人人材の採用がなぜ自社にとって必要であり、経営理念・ビジョンの実現にどうつながるのかを明確に示

すことで、社員の理解と協力を得ることができます。経営理念・ビジョンの社内共有については、ボーダレス経営に関わらず、業種業態・規模感・社内の風土に関わらず改めて実施する事をお薦めいたします。

(2) 戦略的な計画と準備

経営理念・ビジョンを基に、長期的な視点で戦略的な計画を策定します。市場調査やリスク分析を行い、海外展開の場合は進出先の国や地域の選定、現地の文化や商習慣の理解、自社の商品・サービスの強みの整理など、改めて内外情報の可視化が必要です。外国人人材の採用においても、自社の理念に共感し、必要なスキルや価値観を持つ人材を明確に定義します。

(3) 文化的多様性の理解と受容

異なる文化や価値観を持つ人々と協働するためには、文化的多様性を理解し受け入れる姿勢が不可欠です。最低限基本的な事を含めて、社員教育や研修を通じて、異文化コミュニケーションへの理解を高めていきます。

(4) 組織体制の整備

ボーダレス経営を支える社内組織体制を構築します。例えば、外国人人材が働きやすい職場環境の整備、多言語対応の強化などが挙げられます。これにより、経営理念・ビジョンに沿った活動を効果的に推進できます。

(5) 継続的な評価と改善

取り組みの成果を継続的に評価し、必要に応じて戦略や戦術を見直します。経営理念・ビジョンに照らし合わせながら、常に方向性を確認し、組織としての一貫性を保ちます。

戦略的な取り組みが求められます。多くの企業がこのポイントを見落とし、短期的な視点で海外展開や外国人人材の採用の取り組みを進めた結果、失敗に終わっています。

経営者として、自社の経営理念・ビジョンを再確認し、それを基盤としてボーダレス経営に取り組むことで、組織全体が同じ方向を向き、一体感を持って挑戦することができます。これにより、新たな価値を創造し、変化が激しい現代の経営を乗り越えていく事ができるようになります。

株式会社フォーバルでは、インドネシア、カンボジア、ベトナム、ミャンマーに自社拠点を設けており、中小・小規模事業者に特化した海外展開支援を提供しております。そしてその際には、お客様を長期的な成功に導けるよう、「経営理念・ビジョンに基づくボーダレス経営」実現に向けたコンサルティングを大切にしています。

ご支援サービスのご紹介

- ・海外販路開拓支援
 - ↳ ディストリビューター開拓
 - ↳ 食品の越境ECサービス
- ・海外市場調査
 - ↳ 海外法人設立前の調査
 - ↳ マーケティング調査
- ・現地法人設立代行
- ・海外視察アレンジ
- ・海外調達先開拓支援
- ・レンタル工場の運営(ベトナム、インドネシア)
 - ↳ 288㎡から進出可能なレンタル工場
- ・海外人材紹介
 - ↳ 高度人材、技能実習生紹介

5. おわりに

経営理念・ビジョンに基づくボーダレス経営は、企業が持続的な成長を遂げるための重要な戦略です。海外展開や外国人人材の採用は、その一手段であり、経営理念・ビジョンを軸に据えた長期的かつ

(株)フォーバルのサービスについて関心がある方は、筑波銀行営業店までお気軽にお問い合わせください。

フォーバルの海外進出支援メニュー

国	調査関連	会社登記関連	人材関連	その他
JAPAN 	FS調査 販路開拓	生産委託 助成金支援	設立登記 事務所選定 ライセンス取得 レンタル工場	高度人材紹介 技能実習生 ビジネスマッチング支援 JICA コンサルティング支援
CAMBODIA 	FS調査 販路開拓	生産委託	設立登記 事務所選定 ライセンス取得	人材紹介 採用支援 人材教育 労務管理支援 IT支援 専門家紹介 視察受入 現地面談
VIETNAM 	FS調査 販路開拓	生産委託	設立登記 事務所選定 ライセンス取得 レンタル工場	人材紹介 採用支援 人材教育 労務管理支援 IT支援 専門家紹介 視察受入 現地面談
INDONESIA 	FS調査 販路開拓	生産委託	設立登記 事務所選定 ライセンス取得 レンタル工場	人材紹介 採用支援 人材教育 IT支援 専門家紹介 視察受入 現地面談
MYANMAR 	FS調査 販路開拓	生産委託	設立登記 事務所選定 ライセンス取得	人材紹介 採用支援 人材教育 IT支援 専門家紹介 視察受入 現地面談